



2026年4月30日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
 代表者 代表取締役社長兼CEO兼COO 西山隆一郎
 (コード番号：9024 東証プライム市場)
 問合せ先 上席執行役員広報部長 多々良嘉浩
 (TEL. 03-6709-3112)

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、2026年2月12日に公表した2026年3月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期連結業績予想

(1) 2026年3月期通期連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	償却前 営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回公表数値(A) (2026年2月12日発表)	511,000	42,000	100,000	41,000	29,000	112.65
今回修正予想(B)	513,200	45,500	102,800	45,800	38,800	150.71
増減額(B-A)	2,200	3,500	2,800	4,800	9,800	—
増減率(%)	0.4	8.3	2.8	11.7	33.8	—
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	901,131	292,735	347,125	287,639	258,182	901.67

(注) 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

(2) 修正の理由等

今回公表する通期連結業績予想は、法人税等調整額(益)の計上などの損益影響を踏まえ修正するものです。

株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド及び株式会社西武不動産における将来の課税所得の見積りについて収益力の強化が図られたことも踏まえ、繰延税金資産の回収可能性に関して、会社分類の変更に向けた精査をおこなった結果、繰延税金資産及び法人税等調整額(益)を計上する見込みとなったことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益が2026年2月12日公表数値を大幅に上回る見通しであります。

加えて、各セグメントにおける営業収益の上振れのほか、主に不動産事業や都市交通・沿線事業における各種費用の下振れ、為替相場の変動にともなう営業外収益(為替差益)の計上などにより、各段階利益が同公表数値を上回る見通しであります。

(3) 各セグメントにおける営業収益及び営業利益、償却前営業利益の見通し

(単位：百万円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	当連結会計年度 (今回予想)	2/12時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	2/12時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	2/12時点 公表数値比	前期比
不動産事業	84,100	+500	△396,508	12,300	+1,400	△225,317	20,600	+1,400	△227,518
ホテル・レジャー事業	250,400	+1,400	+9,140	22,600	△200	+3,959	40,300	+300	+6,591
都市交通・沿線事業	156,700	+200	+4,032	9,500	+1,400	△1,815	34,400	+1,200	+437
その他	54,600	+300	+3,302	1,600	+300	△464	6,400	+200	△225
合計	545,800	+2,400	△380,032	46,000	+2,900	△223,637	101,700	+3,100	△220,715
調整額	△32,600	△200	△7,898	△500	+600	△23,597	1,100	△300	△23,609
連結数値	513,200	+2,200	△387,931	45,500	+3,500	△247,235	102,800	+2,800	△244,325

(注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去等であります。

2 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

不動産事業の営業収益につきましては、投資運用業におけるエクイティ出資持分の売却などにともない、2026年2月12日時点の公表数値を上回る見通しであります。営業収益の上振れに加え、開発に関する調査費等の各種費用の下振れにより、営業利益及び償却前営業利益においても同公表数値を上回る見通しであります。

ホテル・レジャー事業の営業収益につきましては、国内ホテル業における宴会部門の上振れなどにより、同公表数値を上回る見通しであります。償却前営業利益においても、営業収益の上振れにともない、同公表数値を上回る見通しではありますが、一部海外ホテルにおける減価償却費の上振れがあったため、営業利益は同公表数値を下回る見通しであります。

都市交通・沿線事業の営業収益につきましては、外出需要の増加にともなう運輸収入の上振れなどにより同公表数値を上回る見通しであります。営業収益の上振れに加え、固定資産除却費や減価償却費等の各種費用の下振れにより、営業利益及び償却前営業利益においても同公表数値を上回る見通しであります。

その他では、スポーツ事業の好調などにより、営業収益、営業利益、償却前営業利益は同公表数値を上回る見通しであります。

(4) 業績予想修正の前提

① 国内ホテル業 客室稼働率・ADR 四半期ごとの実績 (速報値)

【客室稼働率】	2026年3月期				【ADR】	2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2026年2月12日発表)	74%	77%	78%	73%	前回公表数値 (2026年2月12日発表)	22,698円	22,328円	24,712円	23,726円
実績 (第4四半期は速報値)	74%	77%	78%	71%	実績 (第4四半期は速報値)	22,698円	22,328円	24,712円	23,953円

② 国内ホテル業 営業指標の実績 (速報値)

(RevPAR・平均販売室料：円)

	2026/3期 前回予想	2026/3期 実績 (速報値)	対前回予想
	RevPAR	17,675	
平均販売室料	23,377	23,432	+0.2%
客室稼働率	75.6%	75.1%	△ 0.5pt

③ 鉄道業 旅客運輸収入 四半期ごとの実績（速報値）（前年同期比）

【定期】	2026年3月期				【定期外】	2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2026年2月12日発表)	+2%	+2%	+2%	+4%	前回公表数値 (2026年2月12日発表)	+3%	+5%	+1%	+4%
実績 (第4四半期は速報値)	+2%	+2%	+2%	+3%	実績 (第4四半期は速報値)	+3%	+5%	+1%	+5%

④ 鉄道業 輸送人員・旅客運輸収入の実績（速報値）

(人員単位：千人、金額単位：百万円)

	2026/3期		対前回予想	
	前回予想	実績 (速報値)		
輸送人員	定期	362,663	363,429	+0.2%
	定期外	255,112	255,790	+0.3%
	計	617,775	619,219	+0.2%
旅客運輸収入	定期	41,337	41,246	△ 0.2%
	定期外	59,818	60,019	+0.3%
	計	101,155	101,266	+0.1%

(注) 本資料に記載されている当社グループの業績予想、目標、計画、予想その他の将来情報については、本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成した当該時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの業績、財政状態その他の結果は、国内外の政治、経済、金融情勢の変動や、当社グループの中期経営計画において意図する施策の状況その他の本資料の作成時点で不確実な要素等により、本資料の内容又は本資料から推測される内容と大きく異なる場合があります。

以 上